ＮＰＯ法人国際協力研究所・岡山　“ＥＳＤ for ＳＤＧｓ by ＩＣＯＩ”活動報告

NPO・ICOI（国際協力研究所・岡山）

Instituto Cooperativo Internacional de Okayama

平成２２年７月活動開始・同年１１月法人設立
代表理事：池田 時夫　副代表理事：竹島 潤　安井 有香子

【理　念】

地域ならびに我が国において，持続可能な社会づくりのために考え，行動する人づくりを行い，環境，平和，人権，地域づくりなど地球規模の課題に関して，双方向の国際協力を目指す。

【活動の３本柱】

①国際協力・交流　：途上国をはじめ海外現地活動の経験を活かして、持続可能な地域づくりを推進する。

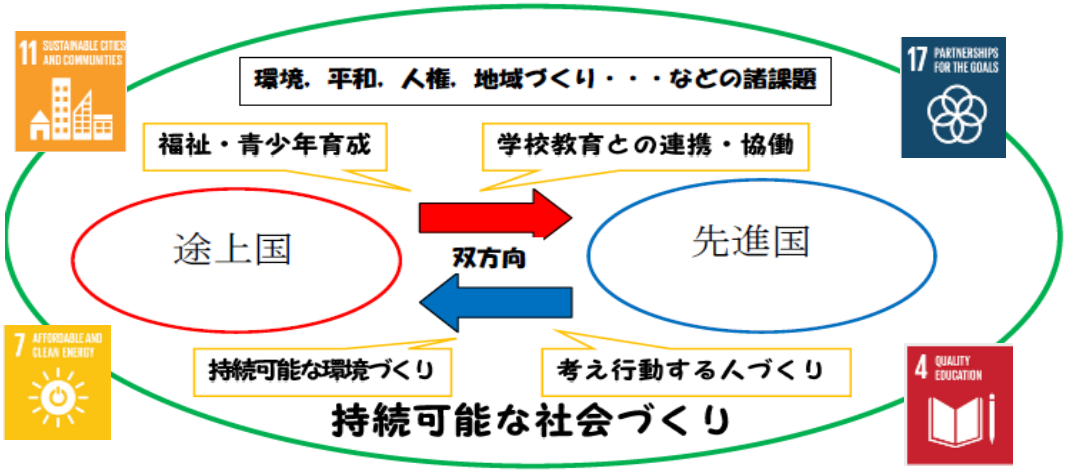
・姉妹都市青少年交流：サンホセ（コスタリカ）、サンノゼ（米国）、洛陽（中国）など
・岡山在住留学生交流、その他海外交流プログラム

②考え，行動する人づくり　：学校・ＮＰＯ・地域の連携協働により青少年・市民を育成する。

・ESD および SDGs の視点を大切にした教育活動の充実（平和、人権、防災、環境、多文化共生など）

③持続可能な環境づくり　：環境，福祉などにかかわる ESD ・ボランティア活動を推進する。

・おかやま環境教育ミーティング、環境学習センターアスエコ出前講座
・福島県浪江町現地ボランティア活動
・西日本豪災害現地ボランティア、ぞうきんプロジェクト



【事業の紹介】

①国際協力･交流

○コスタリカ共和国（サンホセ）青年の受け入れ事業（H26）

コスタリカより来日したシルビア・サンチェスさんが岡山市北区御津宇甘西地区に２か月住まい、地域の方々との意見交換などを通して，観光振興，人口減少などの問題について問題提起した。該当自治体の関係者や住民と先進国における問題の解決について，意見交換した。報告書はシルビア氏自らが，すべて日本語で執筆してまとめた。

ＮＰＯ法人国際協力研究所・岡山　“ＥＳＤ for ＳＤＧｓ by ＩＣＯＩ”活動報告

○米サンノゼ・シリコンバレー親善大使受入事業（H29・ H30）

岡山市の姉妹都市サンノゼ（米国）およびシリコンバレーから来日されている高校生７名を岡山市内ホストファミリーに受け渡す歓迎対面式（山陽新聞朝刊）旭東中学校、学芸館高校、岡山大学での交流授業を行った。

○ウガンダ・Watoto ワトト聖歌隊実行委員団体・学校交流部会（H29, R1）

岡山大学教育学部附属中学校、岡山市立旭東中学校、岡山市立操南中学校において、各教科の授業（英語や音楽）や総合的な学習の時間における芸術鑑賞会等で交流を図った。コンサート当日は、校内オーディション等から選ばれた生徒が通訳を担当。また、楽屋ボランティアとして交流を図った。

○カンボジア訪問事業、平和学習プログラム（H30）

カンボジアを訪問し、現地で地雷撤去活動を続ける NGO の Cambodia Self Help Demining のアキ・ラー代表やビル事務局長、日本人応援団の川広代表と会談。カンボジアより NGO スタッフをはじめ関係者にご来日いただき、岡山市立操南中学校、岡山市立石井中学校で講演会や交流授業を行った。さらに、中学校の取り組みとあわせて、カンボジア地雷博物館について岡山市民に啓発する ESD 人権研修会を開催した。

○中学生と留学生の交流事業： International Meeting

岡山市立旭東中学校（H29）、岡山大学教育学部附属中学校（H30・R1）にて、中学生が岡山県内の留学生と英語で交流を行った。レクリエーションやトークセッションの内容など自分たちで考え「日本文化」「社会問題」「ロボットと未来」などのトピックについて英語で意見交換を行った。

ＮＰＯ法人国際協力研究所・岡山　“ＥＳＤ for ＳＤＧｓ by ＩＣＯＩ”活動報告

○International Friendship Party・西大寺会陽（H29～）

500 年以上の歴史をもつ西大寺会陽に国際チームを組んで参加している。交流会も開催し、留学生を中心に、岡山の伝統文化を経験できる場であり、また発信する場でもある。H30 にはイギリス BBC の密着取材を受けた。

○日中青少年交流促進事業（R1）

NPO 法人日中友好協会との連携・協働により、「日中青少年交流促進団」として、中国（上海、洛陽）を訪問した。特に、岡山市の姉妹都市である洛陽市では、洛陽市人民政府外事弁公室への表敬訪問や、洛陽市立実験中学校および洛陽市立外国語中学校を訪問し、今後の青少年交流について、現地の教職員の方々と対談を行った。

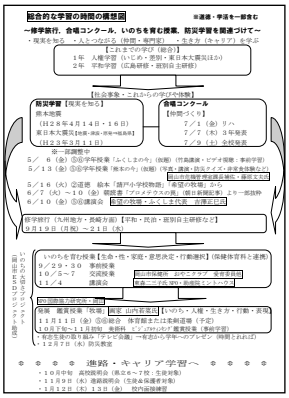
②考え、行動する人づくり

○「いのちの大切さプロジェクト」（平成２８年度岡山 ESD プロジェクト参加事業）

ＮＰＯ国際協力研究所・岡山および岡山市立旭東中学校による協働プロジェクト
～修学旅行、合唱コンクール、いのちを育む授業、防災学習を関連づけて～

NPO・ICOI と岡山市立旭東中学校が連携・協働し、旭東中学校の生徒たちが各学年の総合学習の時間で学んだことを関連付け、「いのちの大切さプロジェクト」として、平成２８年度岡山 ESD プロジェクト参加事業として行った。

生徒たちは、ESD 視点を重視した一連の学習によって、持続可能な社会の創り手にとって大切な資質・能力を高めることができた。



○希望の牧場・ふくしま代表　吉沢正巳さん講演会

福島県浪江町「希望の牧場・ふくしま」現地活動をもとにした講演会や学習プログラムを、岡山市内の中学校をはじめ、岡山県内の高校や小学校、幼稚園で実施し、岡山の幼・小・中・高校生約 2500 名に実施、公民館でも講座を開催した。

○浪江中学校と京山中学校

京山中学校の生徒たちが、当時他の市に被災していた浪江中学校の生徒たちとテレビ会議をして交流した。中学生らしい率直な質問や、活発な意見交換を行うことができ、お互いにとって意義のある活動となった。

ＮＰＯ法人国際協力研究所・岡山　“ＥＳＤ for ＳＤＧｓ by ＩＣＯＩ”活動報告

○被災地をテーマにした芸術鑑賞プログラム（H31）

芸術活動を通して、社会課題への問題提起を呼び掛けている画家の山内若菜さんの絵画展を、中学校で開催した。また、広く一般の方を対象とした絵画展を開催した。

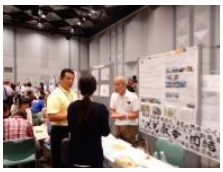
○平和学習プログラム（H30）

カンボジア訪問事業をもとにした講演会や交流授業を岡山市立操南中学校と岡山市立石井中学校で行った。子ども達は、事前学習や実行委員会での活動、講演会の学びや気付きから、平和な社会や自分にできることなどについて考えることができた。

③持続可能な環境づくり

○おかやま環境教育ミーティングへの参加（平成 28 年～）

おかやま環境教育ミーティングに、ICOI の会員が実行委員として関わっている。ブース出展やテーマ別分科会を開催し、ESD や SDGs に関する取り組みを紹介することで、参加者が学びや気付きを得ることができている。また、青少年の参加を促し、未来世代の育成に貢献している。



○福島県浪江町（希望の牧場・ふくしま）現地活動（H27～）

自主上映会「被ばく牛と生きる」（H30）

東日本大震災による原発事故の影響で被ばくした牛を保護する畜産農家を支援している。これまでに計 10 回の現地活動を行い、述べ約 80 名、6 各国から参加している。また、被ばく牛を飼い続ける畜産農家の姿を追ったドキュメンタリー映画「被ばく牛と生きる」の上映会を開催した。

○西日本豪雨災害現地ボランティア活動、ぞうきんプロジェクト

倉敷市真備町をはじめ、御津や笠岡など豪雨災害の被災地にて、複数回の現地ボランティア活動を実施した。さらに、ぞうきんプロジェクト実行委員会、岡山市内の中学校と連携・協働し、山梨県の中学校の協力も得て、約 2000 枚のぞうきんを現地の被災者の方へ届けた。